

すもと

第25号

平成24年10月15日

洲本市議会だより



目
次

9月定例市議会 議案等の概要と議決結果(2)
一般質問(3)~(7)
常任委員会審査(8)~(9)
決算特別委員会審査、討論(10)~(12)
新庁舎建設調査特別委員会審査(13)
閉会中の委員会審査、9月定例市議会の日程(14)~(15)
議員研修、議会用語(16)

洲本市農業祭・畜産共進会
(9月15日アスパ五色)

9月定例市議会 議案等の概要と議決結果

【賛成多数により可決】

議案第57号 平成24年度洲本市一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ8億7,550万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ255億5,450万円とする。

主な内容は、歳入では県支出金7,933万8千円、市債1億6,240万円、前年度繰越金6億599万5千円の追加など。

歳出では、元気のもと基金事業費526万7千円、新県立淡路病院周辺整備事業費800万円、住宅用太陽光発電システム設置費補助金600万円、菜の花エコプロジェクト推進事業費765万円、有害鳥獣防除対策費800万円、道路新設改良費5,500万円、地域防災対策事業費5,204万円、平成24年発生農業土木災害復旧費4,030万円、淡路広域水道企業団補助金8,159万円、過疎地域自立振興基金積立金3,090万円、財政調整基金積立金4億6,391万6千円の追加など。

議案第62号 洲本市薬局施設の設置及び管理に関する条例制定について

新県立淡路病院を利用する市民等の利便性を高めるため、市が設置する薬局施設の管理等に関し定める。

【全会一致により可決】

議案第58号 平成24年度洲本市土地取得造成特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ700万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億7,510万円とする。

歳入では、土地取得造成特別会計財政調整基金繰入金400万円、宅地造成事業債300万円を追加、歳出では、測量業務等委託料700万円を追加。

議案第59号 平成24年度洲本市下水道事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ810万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ25億5,940万円とする。

歳入では、一般会計繰入金810万円を追加、歳出では、補修工事費670万円、維持管理委託料140万円を追加。

議案第60号 平成24年度洲本市CATV事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ900万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ5億1,370万円とする。

歳入では、一般会計繰入金900万円を追加、歳出では、機器購入費900万円を追加。

議案第61号 平成24年度洲本市介護保険特別会計補正予算（第2号）

事業勘定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ253万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ40億6,473万8千円とする。

歳入では、前年度繰越金253万8千円を追加、歳出では、還付返納金253万8千円を追加。

議案第63号 洲本市災害対策本部条例の一部を改正する条例制定について

災害対策基本法の改正に伴い、引用する条項に移動があったことに伴う改正。

議案第64号 (仮称)洲本給食センター新築工事請負契約締結について

旧中川原中学校校庭に建設される(仮称)洲本給食センター新築工事について、淡路土建株式会社と5億9,115万円で請負契約を締結する。

議員提出議案第3号 新庁舎建設調査特別委員会の廃止について

「基本計画が策定されるまで」とされていた同特別委員会は、その役割を終えたため、廃止する。

議員提出議案第4号 新庁舎建設特別委員会の設置について

新庁舎の基本設計、実施設計等、新庁舎建設に関する調査研究等を行うため、6名の委員をもって構成する新庁舎建設特別委員会を設置する。

【賛成多数により認定】

認定第1号 平成23年度洲本市歳入歳出決算認定について

平成23年度洲本市一般会計歳入歳出決算他、9つの特別会計歳入歳出決算の認定。詳細は決算特別委員会の審査報告をご覧下さい。

一般質問

そこが聞きたい

Q 想定される津波高は、南あわじ市ではこれまで（03年）5メートルと言われていたのが、今まで（03年）5メートルと9メートルと想定している。洲本港付近ではどれくらいを想定しているのか。

Q 内閣府が「南海トラフ巨大地震」による被害状況を発表した。市長はどのように受け止めているか。

防災対策と まちづくりについて



A 「南海トラフ巨大地震」洲本港付近の津波高はまだ正式に発表されていない

片岡 格（日本共産党）

う情報から3トルを少し超える程度の想定かと。

Q 根拠のある、明確な数値を出さなければ市民の納得が得られない。同時に対策が立てられないのでは。

原発を廃止すべきと思うが。
時、電力は足りていた。



▲津波で被災した大川小学校（石巻市）

A 市教育委員会とし
てのマニュアルはな
いが、文部科学省や県教
育委員会のものを準用し
ている。

A 問題行動等の定期的な報告とともに、別に本市独自のいじめに関する様式を定め提出するほか、いじめに特化した報告を受けている。

Q いじめに対する市教育委員会のマニュアルはあるか。

「いじめ」問題

A black and white portrait of a middle-aged man with dark hair and glasses, wearing a light-colored shirt. He is smiling and looking directly at the camera.

A 学校全体で組織として
Q 「いじめ」や問題行動への対応

山崎展延（市民みどりの会）

A 市の適応教室やカウンセラー等と協議し指導している。その他の問題の連携のあり方は、自身で対応できないようなときは、関係機関と問題行動等、学校関係機関

Q いじめの報告があるれば、どのように指導するか。

- 決して許されないこと
- 子どもの立場に立つて
- 周囲との連携を密に

と思われるのでも、教育委員会として毅然とした応援、指導を願いたい。

的には警察署等と連携している。

Q 同じような指導を。どの小中学校でも、かつてのような生徒指導教員の加配のない学校が多いので、組織として学校全体の問題として取り組んでいる。



そこが聞きたい

一般質問

これまでも洲本の歴史を大切にしたまちづくりをしてきた。大洲市、たつの市との交流にはぜひ取り組みたい。

正予算として計上されているが、内容は、**A**案内看板の設置、マップ作成、開催にかかる経費等である。

▲国指定史跡の洲本城石垣

洲としたと言われる。また兵庫県たつの市は安治の孫の安政が龍野藩主として治めた。これらまとめて交流することで人の流れを生み出すことができると考えるが。

クラリーなどの機会に歴史的遺産を取り入れ
市民に知つてもらう取り組みができないか、検討する。

※その他、定住自立圈構想、空き家対策について質問を行いました。

洲本城の基礎を築いた脇坂安治は、1609年伊予の大洲に移り、それまでの大津との

を伝える資産を、市民が
観光客に広く知らしめて
いく必要があるのではない
か。

A クロンシユタツト
区との交流の中でど
る。を深める絶好の機会であ

歴史を軸とした まちづくりを

には、蜂須賀側を追悼する庚午事変の碑がある。洲本の地で起きた事変からも関係者を招き、民間、地方レベルでの交流

小松茂（ゆう）
むおだい

A 嘉兵衛翁ゴローラン事件解決200周年
Q 嘉兵衛翁ゴローラン事件解決200周年
の取り組みを
姉妹都市クロンシュタット区との交流
の中で実現したい

岡本治樹（市民みどりの会）

A クロンシュタット区へ青年訪問団派遣の意義は歴史的な縁から日ロ友好・世界平和に通じる

Q 特定規模電気事業者（新電力）と8日間から3年契約したが評価と今後の方針は。

今年度にかけて4集落で集落営農が立ちあがつた。

A 間団を派遣したが、意義と成果は。
高田屋嘉兵衛とゴローニンという歴史的な縁で姉妹都市として、若い世代の相互交流は、日ロ友好・世界平和に通じる。青年訪問団長（市長）として、今後の姉妹都市交流の継続と発展に確かに手ごたえを感じた。

Q 高齢化と耕作放棄地の拡大に対し、収益を上げられる農業として個人農業から組織農業への取り組みは。

A 集落営農活性化塾の開催を行ふとともに、組織化支援や共同機械導入に補助を行つてい

る。七ヶ岳、主張する。力もばつてこ。
箱わな設置への助成等を行ふとともに、柏原山系の麓で囲いわなの実証設置を行つてゐる。また平成23年には森林整備事業として、集落外縁の里山整備による有害鳥獣の出現を抑える実証実験を行つた。その結果、平成23年度は約4割の被害額減少

ロシア・サンクト
ペテルブルク市クロ
ンシユタット区へ青年訪

事業者の推移、社会動向、現契約の執行状況などを勘案し、検討していきた
森林整備事業とリンクしての対策は。

岡本治樹（市民みどりの会）

常任委員会審査

総務常任委員会

一般会計補正予算、特別会計補正予算2件、条例制定・改正について2件の議案5件を審査

一般会計補正予算

防災対策として

- ① 主要な避難所6カ所への蓄電機能付き太陽光パネルの設置に5,100万円
- ② 由良地区におけるワークショップで検証、確認され

- ③ 自治総合センターCommunity Tei助成金を活用した、内田町内会だんじり修繕事業に200万円



▲洲本市薬局施設の建設予定地

Q

地域再生対策として

- ① 空き家を資源とした地域づくりにかかる計画策定を行う地域力創造モデル事業に111万円
- ② 城下町洲本（内外町地区）の

洲本市薬局施設の設置及び管理に関する条例制定について

A 企業誘致への準備として測量業務の委託料に700万円計上されているが、予定地と誘致企業の事業内容は。

土地取得造成特別会計補正予算

Q 企業誘致への準備として測量業務の委託料に700万円計上されているが、予定地と誘致企業の事業内容は。

④ 中川原スマートIC事業認可の事前審査に向けて国と県に対し詳細な資料を示す必要があり、計画策定業務の委託料として1,250万円

なく、利用者の利便性の向上とまちづくりの一環として。

Q 条例では、使用許可期間は6年を超えないことあるが、根拠は。

A 局許可期間に合わせた契約で定めるもので、条例

Q 新県病周辺に民地が少ないとあらわせた。契約の延長については。

A 契約延長に關しては、契約で定めるもので、条例

Q 以上の5議案について審査の結果、いずれも全会一致で可決すべきものと決しました。

Q 災害対策基本法の改正により市の条例を整理しようとるものである。

A 洲本市災害対策本部条例の一部を改正する条例制定についてでは定めていない。

教育民生常任委員会

付託された議案3件について審査

9月12日に、教育民生常任委員会を開催し、付託された平成24年度一般会計補正予算・介護保険特別会計補正予算の2件の審査を行いました。

一般会計補正予算

Q 教育振興費17万5千円の追加では、小学校での「理科おもしろ推進事業」の時間数を拡充したいとのことです。社会教育費の文化振興費10万円の追加では、今年の

3月に市指定文化財に指定された「白巣城跡」の保存に尽力をいたいている実行委員会が実施する記念イベントに補助しようとするものです。

白巣城は戦国時代の山城で、淡路島の有力国人であった安宅氏の居城であったと言われおり、天正9年の羽柴秀吉の淡路攻めの際に、火攻めにより炎上し落城したと伝えられています。

保健体育費では、「新都心元

では定めていない。
災害対策基本法の改正により市の条例を整理しようとものである。

洲本市災害対策本部条例の一部を改正する条例制定についてでは定めていない。

常任委員会審査

「氣創造事業」の委託料200万円を追加しています。事業内容は、淡路島古事記編纂1300年記念事業・食のブランド「淡路島」物産展に合わせて、12月9日に文化体育館でNHK交響楽団のコンサートを開催しようとするものです。

保健衛生費では、計画停電に対応した洲本火葬場への発電機の設置に72万円追加しているほか、希望の多い住宅用太陽光発電システムの設置に対して補助金を600万円追加して、70件の申請に対応したこと。

介護保険特別会計補正予算についても、過年度における保険料の返納金を計上しているとのことです。

9月24日の本会議第3日に、議案第64号(仮称)洲本給食センター新築工事請負契約締結について

に審査した結果、いずれの議案も全会一致可決すべきものと決しました。



▲市指定文化財に指定された白巣城跡

産業建設常任委員会

付託された議案第57号・第59号を審査

9月11日に産業建設常任委員会を開催し、付託された議案第57号 平成24年度洲本市一般会計補正予算、並びに議案第59号 平成24年度洲本市下水道事業特別会計補正予算の2案件に対し、当局から説明を受けました。

一般会計補正予算

農林水産部所管では、環境学習及び啓発のためBDFを燃料とする菜の花バスを765万円で更新したいとのこと。走行距離が約20万kmである現在のバスの修理費が高額になるとのことですが、BDFの使用と故障の関係は不明との答弁がありました。

有害鳥獣防除対策では、防護柵約6kmの追加分として800万円を増額。ため池整備事業4,457万5千円の増額の前倒しによることがあります。

その他、集落営農組織高度化促進事業補助金に200万円までのオーバーホー

円、住民参加型森林整備事業の滝ふれあいの郷へ243万円をそれぞれ追加しているほか、6月の豪雨による農業土木災害の復旧費4,030万円が計上されています。

都市整備部所管では、道路新設改良事業として5,500万円を追加。塙屋2号線とみなと1号線との交差点の改良、舗装の打ち替えを行い、小路谷千草線の70mの狭隘区間の用地取得ができる2車線に改良したいとのことです。

下水道事業特別会計補正予算

についてが上程され、当委員会に付託されました。同日に委員会を開催し、審査の結果、全会一致で可決すべきと決しました。



▲市道みなと1号線の改良工事

ルしていなかつた洲浜ポンプ場のポンプを、渴水期の11月から2月の間に補修するともに、計画停電に対応して、古茂江污水处理施設に発電機を設置したいとの説明を受けました。

これら事業を慎重に審査した結果、いずれの事業も十分な必要性があると認め、付託された2議案については、全会一致可決すべきものと決しました。

診療所運営の抜本的な対策等を指摘して

平成23年度決算を認定

9月14・18・19日の3日間にわたり決算特別委員会が開催され、付託を受けた平成23年度歳入歳出決算認定について審査を行いました。一般会計をはじめ9件の特別会計について、担当部署から平成23年度に実施した主要な事務・事業を中心には、詳細な説明を聴取し、質疑を行い、慎重に審査した結果、賛成多数で認定すべきものと決しました。なお、決算認定に際して、使用料の収納向上、国保診療所運営の抜本的な対策、介護保険サービス事業の運営改善の3点を指摘しました。

特別委員会における主な質疑内容と指摘事項は、次のとおりです。

財務部

問 法人市民税が前年度比で1億4千万円増加しており、景気回復傾向にあるということであるが、好調な業種とは。

答 特定の業種というのではない、市内企業の業績が若干改善した結果と考えている。

問 財政調整基金を5億7、247万3千円積み立てて、基

金残高が24億198万4千円となっているが、すべき事業を縮小して積み立てをしているということはないのか。

答 財政調整基金は、決算の黒

企画情報部

字額の力を積み立てるものであるが、事業をやめて黒字をため込むようなことはない。

問 市税(4,445万8,908円)及び国民健康保険税(4,360万1,003円)の不納欠損があるが、不納欠損処理する場合とは。

答 地方税法に基づき、滞納整理する財産が不明又はない場合にのみ行っている。

問 広報紙の印刷部数は2万部であるが、市内の配布状況は。

答 町内会に所属する世帯には

問 商工業振興費について3,254万4,000円の不用額が発生しているが、この要因

は。

答 不用額のうち、254万4,000円の主なものは、元気な商店街づくり事業の残金で、3,000万円については、

企業誘致奨励策によるものである。

問 防災企画費について73万1,297円の不用額が発生しているが、この要因は。

答 防災会議を開催するために予算計上していたが、開催しなかったことによるものである。

市民生活部

問 緊急雇用就業機会創出事業において、雇用できる最長期間は。

問 基本期間は6ヶ月で、1度

延長することにより、1年間の雇用が可能である。

問 住宅用太陽光発電システム設置者に対して、1kW当たり2万円(4kWを限度・8万円上限)の補助制度を設けています。

また、平成22年度より市内の企業の育成、地場産業の支援のため三洋電機(現パナソニック)製のシステムを設置した場合には、1kW当たり3万円(4kWを限度・12万円上限)とする優遇措置を設けている。

問 市のデータのバックアップ体制は。

答 五色庁舎にサブデータを設置している。

問 市内の消防団員の定数は充

足しているのか。

答 市の消防団員の定数は1,080名であり、平成23年度

問 クリーンエネルギー推進事業の概要是。

答 昨今の地球温暖化対策を市が率先する事業として、電気自動車を購入。また、公共施

末においては970名と、100名程度人員が不足している。

決算特別委員会審査

設に充電器を設置するなど、環境に対する取り組みを積極的に啓発する。

問 新ストックヤード整備事業の概要は。

答 分別収集を円滑に推進し、資源物を保管するための施設であり、既存の施設の保管能力が限界に達し、日常の受け入れ態勢に無理がかかるため、下内膳地区に約2億3千万円で整備された。

健康福祉部

問 直営診療所は大変厳しい決算となっている。抜本的な対策が必要では。

答 人事異動や退職職員の不補充など、人件費削減の対策を講じている。更なる経営改善に向け歳入の増加に努めたい。

問 介護サービス事業勘定が赤字決算となっている。委託料に見合う収入が確保できるのか。

答 利用者の減少と民間事業所の増加が影響している。多様なニーズに対応するなど、今後、利用者から選ばれる事業所となるよう、稼働率の向上に向け努力していく。

教育委員会

厨房設備メーカーの選定、建築設計業務の発注を行っている。

問 アスリートネットワークプロジェクトの内容は。

答 柳本晶一氏、朝原宣治氏ら日本のトップアスリートで組織する「アスリートネットワーク」と連携し、青少年の健全育成・競技力の向上を目的としたスポーツ教室をはじめ、指導者等を対象とした講習会を実施している。平成23年度には4回開催され、1,124名が参加した。



▲アスリートネットワークによるテコンドーの指導

いる。
答 大浜公園整備事業で移転補償費が1,189万円余り計上されているが、件数は。

都市整備部

中で完成予定。中継ポンプは暫定的にマンホールポンプを用い、その後、古茂江污水処理施設を改修してポンプを設置する。

問 新県立淡路病院の汚水はせいん苑で処理するのか。

答 新県立淡路病院と直結する。県立淡路病院は特定施設であり、薬剤等の混入する汚水は、県立淡路病院で一次処理してから流入することになる。推定流入量は1日200tを見込んでいる。

問 新県立淡路病院の汚水はせいん苑で処理するのか。

答 新県立淡路病院と直結する。

問 公共下水道の水洗化率はいくらか。

答 洲本地区で67.5%、都志地区で82.3%、全体で69.5%である。

問 有害鳥獣防除対策事業の成果は。

答 平成23年度において、シカ152頭、イノシシ253頭が捕獲され、報償費が支払われた。また、集落防護柵はのべ延長14,900m設置した。

農林水産部

⑪すもと市議会だより Vol.25 2012.10.15

中で完成予定。中継ポンプは暫定的にマンホールポンプを用い、その後、古茂江污水処理施設を改修してポンプを設置する。

農林水産部

中で完成予定。中継ポンプは暫定的にマンホールポンプを用い、その後、古茂江污水処理施設を改修してポンプを設置する。

問 新ストックヤード整備事業の概要は。

答 分別収集を円滑に推進し、資源物を保管するための施設であり、既存の施設の保管能

力が限界に達し、日常の受け入れ態勢に無理がかかるため、下内膳地区に約2億3千万円で整備された。

問 人事異動や退職職員の不補

充など、人件費削減の対策を講じている。更なる経営改善に向け歳入の増加に努めたい。

問 介護サービス事業勘定が赤字決算となっている。委託料に見合う収入が確保できるのか。

答 利用者の減少と民間事業所の増加が影響している。多様なニーズに対応するなど、今後、利用者から選ばれる事業所となるよう、稼働率の向上に向け努力していく。

教育委員会

厨房設備メーカーの選定、建

教育委員会

築設計業務の発注を行ってい

る。

問 アスリートネットワークプロジェ

クトの実績は。

答 ナタネは17.6haに作付け

され、収穫量は14.4t、搾油

量は3,346ℓ。ひまわりは

6.3haで1.5t、3000ℓの搾油量であった。

問 うしだから誘発推進事業の実績は。

答 濃度改良工事の進捗状況は、

までに完成するため、用地測量、

開設10周年記念イベントを開催し、1,500名が参加した。年間約14万人が利用して

いる。

問 小路各地区からすいせん苑

までの管渠工事の進捗状況は、

までに完成するため、用地測量、

開設10周年記念イベントを開催し、1,500名が参加した。年間約14万人が利用して

いる。

問 アスパ五色の利用状況は、

までに完成するため、用地測量、

開設10周年記念イベントを開催し、1,500名が参加した。年間約14万人が利用して

いる。

問 洲本エリアにおける給食セ

ンターを中川原中学校の跡地に整備するため、用地測量、

開設10周年記念イベントを開催し、1,500名が参加した。年間約14万人が利用して

いる。

問 小路各地区からすいせん苑

までの管渠工事の進捗状況は、

までに完成するため、用地測量、

開設10周年記念イベントを開催し、1,500名が参加した。年間約14万人が利用して

いる。

決算特別委員会審査・討論

答 優良和牛貸付事業で13頭、優良乳牛導入促進事業で25頭、雌確定受精卵移植事業で16件、雌確定精液人工授精事業で11件、肉用牛価格安定対策事業で15頭である。

問 目指そら集落宮農づくり応援事業の実績は。

答 組織化支援事業が2集落、農業機械導入支援が14集落である。

問 農地・水・環境保全対策事業で向上活動26地区あるが、共同活動と内容の違いは。

答 向上活動は、U字溝、コンクリート・アスファルト舗装も可能となる。

問 水産振興事業で中間育成、種苗放流事業が計上されていが、内容は。

答 クルマエビ中間育成・放流、アワビ中間育成・放流など12魚種で実施している。

問 食の探検事業WEBサイトの利用率が低いのではないか。答 利用率を上げていく努力をしていく。

問 御食国は単年度黒字となつているようだが、融資制度貸付金がかわらず1億円計上さ

● 市税、使用料等については、収納率の向上がみられるが、市立保育所保育料、市営住宅使用料で収入未済額が多額に上っている。負担の公平を保つため、収納に努めること。

● 国保診療所の運営については、地域医療の拠点を守るためにも住民の医療ニーズを的確に把握し、赤字体質からの脱却に向け、抜本的な対応を早急に行うこと。

● 介護保険サービス事業の運営については、事業内容を精査し、運営の改善を図ること。

賛成 小松 茂(あおぞら)
新県立淡路病院横の市有地に院外薬局を設置する条例について、『行政がする仕事ではない』と反対の討論がなされた。議案第62号は、薬局の設置及び管理について定める条例

平成24年度一般会計補正予算の一部と、関連する議案第62号洲本市薬局施設の設置及び管理に関する条例制定についての2件に反対する。

主な理由は、東日本大震災の教訓から、海岸や河川沿いなどの低地に病院や庁舎等の公的施設の建設は行わないことが、國の方向だと認識している。新県立淡路病院及び市が計画している「院外薬局施設」の建設予定地は、「南海トラフ巨大地震」で想定される津波等の被害で、安全とは言いつ切れない。

平成23年度歳入歳出決算認定に

反対 片岡 格(日本共産党)

平成23年度予算に対しても、市税等で収入未済金が減少していることは、滞納対策室の努力の結果であり評価する。保育料、市営住宅家賃で滞納が増加しており、この私債権も課となつた滞納対策課が対処するとのことだが、一義的に徴収は担当課が担うべきであり、滞納対策課が対処する基準等を明確にする必要がある。

国保診療所を地域医療の拠点として維持していくためにこそ、赤字体質から脱却しなければならない。抜本的な経営改善を求める。

これらの要望を付して、認定すべきものと考える。



▲食の探検事業WEBサイト

9月定例市議会で行われた討論

平成24年度一般会計 補正予算ほかに

反対

片岡 格(日本共産党)

で、目的において「利用者の利便増進に資する」とされている。新県立淡路病院周辺には民有地はほとんどない。この薬局施設が設置されなければ、高齢者や障がいのある方々などは、猛暑や極寒の中でも病院から離れた所へ薬を受け取りに行かなければならない。

それが人にやさしいまちづくりなのだろうか。

反対討論では、平成23年度予算に対しても、反対したから決算認定に反対としか述べられなかつた。

賛成 小松 茂(あおぞら)
反対討論では、平成23年度予算に対しても、反対したから決算認定に反対としか述べられなかつた。

に更なる努力をすること ● 納税相談等については、きめ細やかな対応を行うこと ● 介護保険については、国の制度の改悪をしつかり踏まえて対応すること ● 直営診療所については、医師2名を確保し、地域住民が安心できる環境整備に努めることなどを要望した。

指摘事項

答 8,870万円となつてい

れている。累積赤字の額は、

答 8,870万円となつてい

る。

62号洲本市薬局施設の設置及び管理に関する条例制定についての2件に反対する。

主な理由は、東日本大震災の教訓から、海岸や河川沿いなどの低地に病院や庁舎等の公的施設の建設は行わないことが、國の方向だと認識している。新県立淡路病院及び市が計画している「院外薬局施設」の建設予定地は、「南海トラフ巨大地震」で想定される津波等の被害で、安全とは言いつ切れない。

平成23年度予算に対しても、市税等で収入未済金が減少していることは、滞納対策室の努力の結果であり評価する。保育料、市営住宅家賃で滞納が増加しており、この私債権も課となつた滞納対策課が対処するとのことだが、一義的に徴収は担当課が担うべきであり、滞納対策課が対処する基準等を明確にする必要がある。

国保診療所を地域医療の拠点として維持していくためにこそ、赤字体質から脱却しなければならない。抜本的な経営改善を求める。

これらの要望を付して、認定すべきものと考える。

新庁舎建設調査特別委員会審査



▲災害対策本部の機能について説明を受ける（福島市役所にて）

7月9日、第11回新庁舎建設調査特別委員会が開催され、洲本市新庁舎建設等市民検討委員会からの新庁舎の導入機能に対する意見や費用対効果を考慮した導入機能、ライフサイクルコスト、整備財源等の検討について追加記載され

た洲本市新庁舎整備等基本計画案について説明を受けました。また、7月17日から8月16日にかけて、市の広報媒体（広報・ホームページ・C

ATV）を通じて、洲本市新庁舎整備等基本計画策定に関するパブリックコメントを実施し、広く市民の意見を求める方針が示されました。

そのことを受けて、9月20日、第12回新庁舎建設調査特別委員会が開催され、パブリックコメントの結果に対し報告を受け、寄せられた12件の提案及び意見について質疑がなされました。

その後、本委員会の設置目的が果たせられたことに伴い、本委員会としての最終報告の内容を協議し、新庁舎建設において調査を行ってきました。

洲本市新庁舎整備等基本計画を策定！

|| 新庁舎建設調査特別委員会 ||

いて、5点の要望を付けて最終報告を行い、本委員会の調査を終了することを確認しました。

新庁舎建設調査特別委員会報告

平成23年3月8日の本会議で、竹内市長より平成23年度の施政方針が示され、「市役所新庁舎の建設」に向け、基本プランの策定に取り組むことが明らかにされたことを受け、平成23年3月25日の本会議において、新庁舎に関する調査研究のため当特別委員会が設置されました。

新庁舎建設特別委員会を設置

また、平成24年1月16日、仙台市では東日本大震災及び津波避難ビル、福島市では新庁舎建設事業等について調査を実施しました。

この間、執行部は、学識経験者、公募市民等で構成された洲本市新庁舎建設等市民検討委員会を平成23年11月7日

に設置し、広く意見、提言を求めつつ、平成24年7月17日から8月16日まで「洲本市新庁舎整備等基本計画（素案）」を公表し、パブリックコメントを実施し、「洲本市新庁舎整備等基本計画」を策定しました。

当特別委員会としては、

- ユニバーサルデザインを取り入れ、来庁者の円滑な移動動線を確保し、利便性に配慮した庁舎とされるべき。
- 市民に愛され、親しまれる庁舎とされたい。
- 市民サービスの向上につながる機能的な庁舎とされたい。
- 地震対策をはじめ、風水害等の自然災害に対応する防災拠点として機能する

新庁舎整備等基本計画が策定され、新庁舎の整備に向けて事業が本格的にスタートすることに対応し、議会として、基本設計・実施設計等、新庁舎建設に関する調査研究を行うため、9月定例会最終日に新庁舎建設特別委員会が設置されました。

委員会は6名の委員で構成され、議会の閉会中も、終了を議決するまでの間、継続して調査研究を行うことができることとしています。

委員には、○地村耕一良、○岡崎稔、山崎展延、山木佳宏、小松茂、片岡格の各議員が選任されました。

閉会中の委員会審査

復旧工事完了箇所と

復旧進捗状況を確認

災害復興調査特別委員会

6月定例会後、8月8日に第9回災害復興調査特別委員会を開催しました。農業用施設災害や公共土木施設災害等の復旧工事の進捗状況等の報告を受けた後、次のとおり9カ所の復旧工事の現地調査を行いました。

者が契約しています。あと275件が残っていますが、平成23年度に補助金の交付があった事業については平成25年3月までに完成させ、平成24年度に交付される事業については平成25年度中に完成させるとの報告がありました。

今後も当委員会を2カ月に一度開催し、現地調査も引き続き実施することを確認しました。

で、特に農家にとって切実な農業災害については、契約は53件、66・8%が完了し、全て洲本の業



▲奥畠川の復旧工事現場を視察

9月定例市議会の日程

8月31日 告示。常任委員長会

9月4日 議会運営委員会

議会報編集特別委員会

7日 本会議第1日

専決処分の報告について他1件の報告を受け質疑。

7議案を上程、上程理由の説明を受けた後、5議員が質疑ならびに一般質問を行う。

途中、議会運営委員会を開催、以後の日程を協議。

10日 本会議第2日

5議員が質疑ならびに一般質問を行う。

議案7件を各常任委員会に付託。

認定第1号を上程、説明を受けた後、決算特別委員会を設置し、付託。

11日 産業建設常任委員会

12日 教育民生常任委員会

13日 総務常任委員会

14日 決算特別委員会

18日 決算特別委員会

19日 決算特別委員会

20日 新庁舎建設調査特別委員会

21日 議会運営委員会

24日 常任委員長会

本会議第3日

各常任委員長より7議案の審査報告を受け、質疑、討論、採決。

1議案が上程され、教育民生常任委員会に付託して審査。委員長の審査報告を受け、質疑、討論、採決。

新庁舎建設調査特別委員長より審査報告と調査終了の報告を受け、議員提出議案第3号により同特別委員会の廃止を追加上程、可決。

議員提出議案第4号 新庁舎建設特別委員会の設置についてを追加上程、可決。

途中、新庁舎建設特別委員会を開催、正副委員長を互選。

認定第1号を上程、決算特別委員長の審査報告を受け、質疑、討論、採決。

議員の派遣についてを採決。

常任委員会及び議会運営委員会所管事務調査についてを採決。

市長から意見を求められていた人権擁護委員の推薦について、異議がない旨を報告。

閉会決議。閉会。

議員研修

◆7月11日

淡路地域正副議長会主催による平成24年度淡路議会議員研修会が、南あわじ市緑市民センターで開催。

「自分たちのまちは自分たちでつくろう」をテーマに、(株)読売奈良ライフ 代表取締役社長 朝廣佳子氏より講演をいただきました。



知つておきたい 議会用語

決算認定について
決算とは、予算に対しても実際の收支がどうであったかという結果を計数的に明らかにしたものです。
監査委員は、政令で定める市以外の市にあっては2名とされていますが、条例3ヵ月以内に決算を調製し、長に提出しなければなりません。そして、長はその決算を監査の審査を経た決算を監査委員の審査に付し、監査委員の意見をつけて、次の通常予算を審査する會議までに、議会の認定に付さなければならぬとされています。

監査委員は、当該地方公共団体の執行する事務のうち政令で定めるものを除いたもの、及び当該地方公共団体が補助金等の名目で財政援助を行っている団体の執行する事務について、その手続きが適正であるか、業務の存続が適当であるなどといった点について、監査を行います。

うち1名は議員より選任)。監査委員は、当該地方公共団体の執行する事務のうち政令で定めるものを除いたもの、及び当該地方公共団体が補助金等の名目で財政援助を行っている団体の執行する事務について、その手続きが適正であるか、業務の存続が適当であるなどといった点について、監査を行います。

算は、議会の認定に付さなければなりません。決算審査は、単に技術的なミスがなければそれでよいといふものではなく、一年間の財政支出を通じて、財政の傾向を知ると同時に、どのよううに住民のための施策が実行されたか、当初提出された施政方針がどのように具體化されたかという政策の点検でもあり、重要な政治的意味を持っています。

◆7月23日

「最近の治安情勢について」と題して、洲本警察署長・本岡康幸氏より、管内における交通事故の発生状況と主要な街頭犯罪・侵入犯罪認知状況について、ご教授いただきました。

▲本岡洲本警察署長の講話

岡康幸氏より、管内における交通事故の発生状況と主要な街頭犯罪・侵入犯罪認知状況について、ご教授いただきました。

◆8月20日

洲本市教育委員会・美濃正明学校教育課長より「タイの日本人学校に勤務して」をタイトルに、自身の海外教員生活の経験談を話してくださいました。

◆4年に一度開催されるロンドンオリンピックも最多のメダルを獲得し閉幕。今年の夏は猛暑でしたが、やっと朝晩には虫の声が届くようになりました。◆いよいよ稲穂も黄金色に光り輝き収穫され、食欲の秋、観光シーズンを迎えます。夏バテには気を付けて体調管理も万全に行動していくたいものです。◆議会としては9月議会も閉会、平成23年度洲本市歳入歳出決算が認定されたところです。今後は、あらゆる施策が適正に実現されていくか注視していく必要があります。◆議会の皆様に、いかにわかりやすく読みやすい紙面ができるか、一生懸命努力してまいりたいと思いま

編集後記

Vol.25 2012.10.15 すもと市議会だより 16